

成田空港従業員を対象に 新型コロナワクチン職域接種を実施します！

この度、成田国際空港株式会社（NAA）は、空港内事業者の従業員を対象とする職域接種を実施することといたしましたので、お知らせいたします。

成田空港では、約700の事業者が運航業務、接客業務、清掃等の業務を通じて空港の安全・安定な運用を支えているところであり、新型コロナウイルスに接触する可能性が高い水際の業務にも多くの従業員が従事しています。こうしたことから、お客様や従業員の安全確保はもとより、空港の安定運用のためにも1日でも早くワクチン接種を促進する必要があります。

NAAでは、関係省庁および医療機関などと調整のうえ、企業単位の職域接種に替えて、広く空港内事業者の従業員を対象とする職域接種を以下のとおり実施することといたしました。

成田空港 新型コロナワクチン職域接種の概要

- 実施期間： 2021年 7月5日(月)～10月中旬 ※ワクチン供給の状況により前倒しの可能性有り
- ワクチン： 米国モデルナ製 メッセンジャーRNAワクチン
- 規模： 空港内に勤務する従業員を対象に約16,000人分の接種を実施予定
※実施体制に伴う制約に応じて、お客様と接触機会の多い業種など最前線のスタッフを優先して実施。なお、必要に応じて次回以降の追加実施も検討
- 接種会場： 成田国際空港内 貨物管理ビル7F
- 実施体制： 1日あたり約400～500名の接種を実施予定
受付・案内・事務手続きスタッフ 20～25名/日
医療スタッフ 8名/日
- 主催： 成田国際空港株式会社 / 医療機関： 学校法人日本医科大学
- 協力： 全日本空輸株式会社、日本航空株式会社、ハイ株式会社（STORES予約システム）

この職域接種は、成田空港内事業者の従業員を対象とするものであり、従業員のご家族や一般の方は接種頂くことができません。予めご了承ください。